

75. 「防災・日本再生シンポジウム」の開催

(学外対応分)

実施時期又は期間

開催日：平成23年11月9日

開催場所：青森グランドホテル（青森県青森市）

対応部局及び人員

北日本新エネルギー研究所，白神自然環境研究所，被ばく医療総合研究所，
学術情報部（教員10名，事務職員20名，技術職員1名）

実施の背景・目的

国大協からの「平成23年度防災・日本再生シンポジウム」に応募した結果，採択されて国大協との共催により開催した。

実施概要

東日本大震災後の災害復旧・復興に向けて，エネルギーインフラの強化や放射能汚染浄化，生態環境の修復，被ばく等への早急な対応が求められている中，本シンポジウムでは，弘前大学が以前から重点的に取り組んできたこれらの課題への取組について紹介し，それらを踏まえた日本再生プランを提示した。

パネル討論では，日本再生に必要な人材育成への弘前大学の取組を紹介するとともに，地域および我が国における人材育成のあり方について議論した。

また，本シンポジウムの開催にあたっては，地元自治体の協力を経て地域住民及び地元企業等を対象とした結果，約190名の参加があった。

効果又は結果

「リスクの分散」，「再生可能エネルギー，食の地産地消」，「被ばく等の状況調査」，「地域視点での日本再生」の必要性が指摘され，また，「放射線」，「安全，リスク管理」，「技術経営」などの教育をカリキュラムに取り入れた人材育成が重要であるとの意見も出され，東日本大震災後の防災と日本再生，人材育成について考える良い機会となった。

今後の課題

- ①日本再生プランに基づく教育・研究活動
他大学，研究機関等との連携も図り研究・教育活動を加速
- ②浪江町との連携協定に基づく支援活動と人材育成への活用
被ばく等の状況調査，研究をリスクに強い人材育成にも活用
- ③自治体等との共同研究（実証研究等）
地域に根差した人材教育にも活用
- ④新たに設置する理工学研究科博士課程（前期）新エネルギー創造工学コース等のカリキュラムへの反映
防災・安全教育，プロジェクトマネジメント・ビジネスモデル教育等

担当部局名

北日本新エネルギー研究所，白神自然環境研究所，被ばく医療総合研究所，学術情報部



挨拶をする遠藤前学長



パネル討論の様子